

唯一の戦争被爆国である日本政府は 核兵器禁止条約の一日も早い批准を

般若寺平和の塔の由来を説明する
工藤良任般若寺住職 7月31日、平和の塔のつどい



7月31日、般若寺で、「第31回原爆犠牲者追悼般若寺平和の塔のつどい」が開かれ、各界から50名が参加しました。「つどい」の参加者は、異口同音に、核兵器禁止条約が今年1月22日に発効したことを喜びあうとともに、「唯一の戦争被爆国日本が核兵器禁止条約を一日も早く批准することを求める」ことを強調しました。

「つどい」では、工藤良任住職が般若寺の「原爆の火」は「広島」の火」と、長崎の原爆瓦から採火した「ナガサキの火」を含めて「原爆の火」として灯し続けていることなど、「般若寺平和の塔の由来」を詳しく説明、核兵器廃絶まで灯しつづける決意を述べました。

「つどい」には、3名の被爆者と、3名の被爆2世が参加。平和活動家の中村正樹氏は、母親は爆心地から4キロ地点で被爆、父親は援護隊として被爆犠牲者の救援活動に参加し「入市被爆」した被爆2世として、両親の苦悩をリアルに話されました。（発言内容は、次号で紹介予定）

この日の「つどい」は、梅林光生奈良県原水協事務局長の司会のもと進められ、同実行委員長・明光寺住職の藤井聖仁師が開会の挨拶を行いました。「つどい」には、田辺実県本部長ら多数の国賠同盟員が参加しました。



奈良県版

No. 343

2021年8月15日

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟
奈良県本部
〒630-8442
奈良市北永井町 277-3
田辺実気付
☎ 0742-61-7194
振替 0990-2-209460
治安維持法国賠同盟
奈良県本部

われわれの 運動の基本

- ふたたび戦争と暗黒政治を許さないために
- 一、治安維持法体制の復活に反対する
- 二、国は、治安維持法が人道に反する悪法であつたことを認めること
- 三、国は、治安維持法犠牲者に賠償を行うこと

『作成者の権利や利益を害する恐れはない』

へ理屈ばかりの被告側主張

「黒塗り」裁判第3回口頭弁論

7月21日、奈良地方裁判所で行われた「黒塗り」裁判の第3回口頭弁論について、子どもと教科書権原ネット21事務局長の樽井幸一郎氏から、次のように報告をいただきましたので掲載いたします。

奈良市教育委員会が一昨年行った教科書採択の資料を情報開示請求したところ、一部不開示(黒塗り)にされたことについて、奥野つね子さんが全面開示を求めて奈良市を相手取って提訴(行政文書不開示処分決定取消請求事件)した裁判の第3回口頭弁論が7月21日、奈良地方裁判所で行われました。

個人を特定することは不可能

この日の公判では、原告の奥野さんは、「黒塗り」開示を正当化する被告側の、

「教科書展示会への参加者個人を特定(識別)することができない」などとした主張を次のように反論しました。

そもそも、誰が展示会に参加したのかについては一般に明らかになっていない以上、情報開示を受ける者において、参加者を特定ないし限定することは不可能であり、被告の主張する前提に誤りがある。アンケートを作成する可能性がある者は、教科書展示会の参加資格を制限していない以上、国民全員がその可能性を有することになるため、本件における識別可能性を検討するうえで、全国民が教科書展示会の閲覧者となり得ることになり、その中から個人を特定することは不可能である。

アンケートは積極的に任意で

また、「アンケートの感想欄を開示することによって、個人の権利利益が害されること」した被告側の主張にたいして、奥野さんは次のように反論しました。

原告側反論IIアンケートの感想欄の記載は、教科書展示会の感想を記入したものであり、点字教科書に関する意見等が記載されているものの、その内容は自己に不利益な情報でもない。しかも、そのアンケートは、教科書採択手続きにおいて積極的に任意でなされたものであり、やはり、私的目的や悪事情に基づく作成といった要素はなく、典型例の反省文やカルテとは異質なものである。したがって、これを開示してもアンケート作成者の権利や利益を害するおそれはないので、当不開示条項には該当しない。

公判後に開かれた報告会では、今治周平弁護士が奥野さんの反論の要点の報告がされました。参加者から、「被告の主張には屁理屈ばかりだが、裁判所が正しい判断をするかどうかわからない。運動を広めていこう」との発言もありました。

次回の口頭弁論は10月21日(木)午前11時奈良地裁。

「奈良刑務所物語」

4月24日行われた「奈良刑務所物語」

治安維持法で囚われた人々』の合評会に出席者の発言を引き続き紹介します。今回

合評会報告(3)

は吉田恒俊さんと岡田雅一さんの発言です。

人は誰でも何度かの

修羅場を切り抜けてきた

吉田 恒俊さん

(国賠同盟奈良県本部顧問)

弁護士として、この本を読んで身につまされる思いです。私は昭和17年生まれです。戦争についての記憶はまったくありません。一つか二つ上の人は何かしら物心が付いたので記憶がある人もおられるでしょう。大阪市天神橋にあった家は戦争で焼かれてしまっ、以後両親は家を転々とし、私と弟は貧しい思いの記憶が残っています。この『物語』を拝見し、その直前まで多くの人が弾圧・投獄されたことを改めて教えていただきました。

総選挙で野党連合政権めざし

この秋に行われる総選挙では、市民と野党の共同で自民・公明政権に変わる野党連合政権の樹立を目指し奮闘することが求められています。

奈良一区市民連合の佐川愛子事務局長は、立憲民主党に対して奈良一区で野党統一で闘う立場を早く表明するように申し入れるので、「国賠同盟も名を連ねて欲しい」との連絡がありました。県同盟も、積極的にこの運動に参加します。

野党統一の実現を強く要求

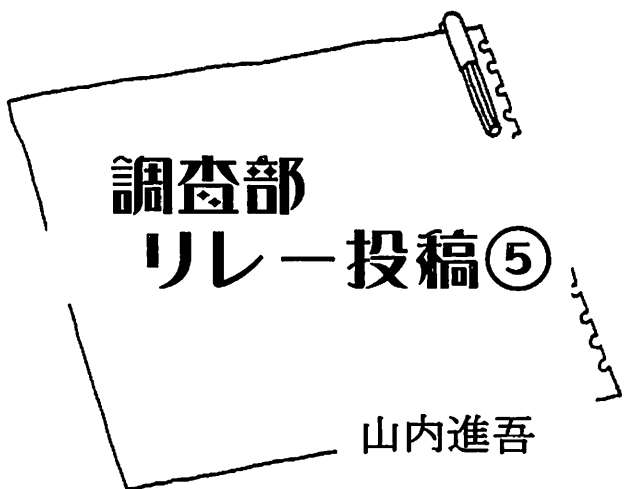
佐川事務局長から、7月29日現在で「野党統一候補の早期擁立を求める要望書への連名」は507名に達しました。8月2日に要望書を各立憲野党に持参致します。「と報告をいただいています。同盟中央本部は、遅くとも9月中旬までに「衆議院総選挙勝利のための決起集会」を都道府県本部・支部で開くことを呼びかけています。この呼びかけに応じて、奈良県でも総選挙で野党統一候補の実現のため力を尽くしましょう。

出せなかった時代です。私の仲間は民青系で過激派と対立しており、彼らのような暴力的なやり方に反対しておりました。その結果法学部自治会始めほとんどの学部自治会を民主化し、同時に全学の自治会と生協総代会も民主化されました。しかし、逮捕されたことは一度もありませんから、この本を読んで、獄中・獄外のご苦労に思いを馳せ、理解を深めることができたことは有り難いことです。私の若い頃は、まだ『物語』の中に出てくる人の何人かは生きておられ、直接聞けた人もおられたはずなのに、聞こうとしなかったことを後悔します。

労働者の立場に立つ

弁護士を目指して勉強

『物語』ほどではありませんが、人生経験のいろいろな局面を、日頃から話し合える若者と高齢者の機会が必要だと思えます。私は、学生運動の経験から、労働者の立場に立つ弁護士を目指して勉強を始めました。活動と両立するのは厳しかったですが、同じ仲間と勉強を作って、それに活動には参加しないが民主的法律家をめざすという人たちを集めて勉強を始めまし



山内進吾

た。法律の勉強だけでなく布施辰治の本などを読んで学習会もしました。「京大五月会」という会を立ち上げたのです。これも学生運動の一貫ですね。お陰で仲間からその後何年もの間沢山の司法試験合格者が出ました。

私も何とか司法試験に合格して、弁護士を開業し、大阪で7年、奈良で44年合計51年になります。労働事件で奈良では18年ぶりに地方労働委員会の勝利命令や、戦後初めての中労委の勝利命令を勝ち取ることができました。

私もいつの間にか79歳という年になってしまいました。同年齢の友達で何人かは先立っています。私にはこの本に残るような大した話はありませんし、何をどう後輩に伝えたいのかも分かりませんが、人は誰でも長生きした人は何度かの修羅場を切り抜けてきているもので、それぞれが貴重な経験をお持ちだと思います。そんなことを上手に聞き出して折に触れ若い人たちに伝えることも別の意味で物語になるかも知れませんね。

2014年に初版の『奈良刑務所物語』を刊行することになり、過去に15年ほど小さな印刷会社で営業の仕事をした経験があり、知友に頼まれて4冊の自費出版のお手伝いをした経験を買われて、編集に携わることになりました。2016年には増補改訂版を出しました。今回の増補改訂版はその後の調査部の資料の蓄積を受けて倍のページになりました。

一旦普及したものをどうしたら新たに普及できるかと悩みました。どなたか社会的に認知された方の援助をお願いしたいと考えた時、2年前の県会議員選挙で山村幸穂さんの応援演説をされた寮美千子先生が、地元奈良で作家活動をされていて、奈良刑務所の保存運動に尽力された方でもあり、務所の保存運動に尽力された方でもあり、特別寄稿をお願いすることを考えました。

寮先生は寄稿を快諾されたうえで、従来仲間内の普及ではもったいないと言われ、

「奈良少年刑務所」に名称変更も
投獄は米軍占領期にも続く

岡田雅一さん

(奈良県戦後史研究会事務局)

奈良県戦後史研究会で活動を始めて2年になります。

戦後「奈良少年刑務所」に名称変更しましたが、投獄は米軍占領期にも続きました。福本正夫氏(元五条市議)は48年に37日間(『激動の中で』下)、羽根田一郎氏(元広陵町議)は49年に25日間(奈良民報創刊号)、甲谷松太氏(元桜井市議)は51年に56日間、他にも占領期に判明分だけでも18人が投獄されたことが判明しました。

戦後の獄中での抵抗は多くが詳細不明でしたが、最近、甲谷氏の獄中記や獄中書簡など得難い一級の極めて興味深い生史料が多数発見されました。

出版社を紹介していただき、文字通り新たな出版となりました。私たちの発想に無いタイトルで立派な装丁となり、市中の書店でも目立つように陳列されています。

と、喜んだのも束の間の事。完成した冊子に重大なミスを発見。橋本省三氏の顔写真が松田喜一氏の記事中に挿入されている。愕然とした私はこの本を初めて手にした読者になって初めから点検しなおしたところ、22ヶ所に及ぶ訂正箇所がありました。会長に相談して刷り直しを決断していただきました。

第2刷を発行した後も、竹末勤氏をはじめ読者の方々から誤りの指摘をいただき、とりあえず正誤表で対応させていただくことにしました。

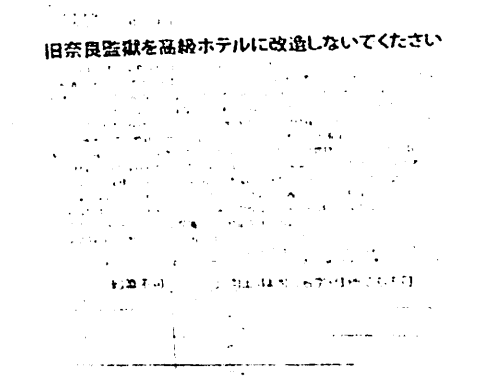
原稿をお寄せいただいた皆さん、原稿のデータ作成にご尽力いただいた調査部の皆さん、何よりも読者の皆さんにご迷惑をおかけしたことを深くお詫びいたします。(調査部員)

新たな飛躍と訓戒と

私はお誘いを受けて2012年に調査部員となりました。京都の部落問題研究所に「日本社会運動通信」の閲覧・調査が始まった時でした。車の運転で皆さんを京都へお連れすることへはいはできると引き受けました。

「旧奈良監獄」を高級ホテルにしないで」の新署名にご協力を

「旧奈良監獄」を高級ホテルにしないでください」と呼びかけた署名運動が始まりました。「奈良少年刑務所を宝に思う会」、「治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟奈良県本部」、「古都奈良の自然・文化遺産を守る会」の3団体で結成された「旧奈良監獄を語り合う会」が呼びかけた署名運動です。この署名運動では、治安維持法犠牲者



旧奈良監獄を高級ホテルに改造しないでください

旧奈良監獄は、奈良監獄、奈良刑務所、奈良少年刑務所と名称を変えてきました。法務省作成のパンフレットの「沿革」によると、1871(明治4)年奈良監獄として奈良町大字西笹鉾に発足し、明治41年奈良市般若寺に改築移転し、1922(大正11)年奈良刑務所と改称、1946(昭和21)年に奈良少年刑務所と改称、2017(平成29)年3月に閉鎖されました。

の顕彰事業もクローズアップされており、県同盟も署名運動を積極的に進めます。2016年度末をもって閉じられた旧奈良少年刑務所は、2017年2月23日に「歴史的価値が高く、意匠的にも優れた近代建築」として重要文化財として指定を受け、民間事業者が史料館や保存・活用する方針のもと事業が進められてきました。法務省の当初の計画では、「史料館」を中核とすることがうたわれていました。しかし、これまで「ホテル」の計画がクローズアップされてきたことで、「史料館」の位置づけ

署名数・会員数の到達
(八月一日現在)
団体署名 七(前月比プラス七)
個人署名 一八(前月比プラス八)
会員数 四一五名
(前月比マイナス二) 死亡一名

「不屈」奈良県版7月「特別号」掲載

「林直子・友雄姉弟が語る 林家の人々」に反響

奈良刑務所に収監された林三郎氏が「奈良民報」(2018年11月11日号)で取り上げられことが契機となって、橿原市在住の林直子さんと林友雄さんとのつながりができ、「不屈」奈良県版「特別号」が編集・発行されました。林三郎さんは、石垣スエノさんと交流のあった人です。

この「特別号」は林三郎さんの姪と甥の(林直子さんと友雄さん)と田辺県本部会長と樽井幸一郎氏が5回の懇談のなかで語られた内容を、樽井氏がまとめられたものです。経済学者の宮川實氏の息子(宮川洋さん)については、国賠同盟中央の藤田廣登氏を通して資料を提供していただくなどの協力を得て書かれました。

これまで、奈良県本部に寄せられた主な感想を紹介します。

林さん三代の闘いと抵抗の歴史を現代の眼で捉えた

国賠同盟中央本部長 増本一彦
林さん三代の闘いと抵抗の歴史を現代の眼で捉えられた編集は見事というべきでしょう。編集者の「闘いと抵抗の歴史」を甦らせようとされるご努力に敬服します。同盟の犠牲者名簿づくりの運動から次の活動への飛躍の契機を与えてくださるものと思います。

戦いと抵抗の遺産が 立派に拡散相続

和歌山県からは「興味深く拝読しました。戦いと抵抗の遺産が立派に拡散相続(?)されました。奈良国賠が立派な仕事されているなあと感じ入っています。」(鶴田至弘 和歌山県本部長)と感想がよせられています。

訃報

三石光男さん
7月9日に逝去されました。84歳。奈良支部。国賠同盟に多大な貢献をされていたきました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

◇川 柳◇

奈良の愚僧とその妻
バツ八殿一泊300万円誰が出す
バツ八君しよせん五輪は運動会
付けてない妻がマスクを付けとう
大和郡山支部 杉本英雄
さて五輪気になる金はコロナ菌
煙たがる核禁条約現政権
マスク取るだけで嬉しい夏の夜

が後景に押しやられてきました。運動団体内では、むしろ「史料館」を重点にすべきだとの議論が強まっており、政治犯が収監されていたことが改めて注目を浴びるようになりました。

自公政権のもとでは、われわれの要求実現にはさまざま障害はありますが、それを突破する運動を構築するとともに、野党連合政権が実現した段階での可能性を展望して息の長い運動をすすめます。

毎年5月に国会請願を行っている「治安維持法犠牲者への国家賠償を求める」署名運動とあわせ、このあらたな署名運動の推進を広く呼びかけます。

2021年近畿ブロック会議は11月16日～17日に奈良市で開催決定

近畿ブロック会議は2府4県の活動家が参加し経験を交流する場です。他府県の優れた経験に学び奈良県の活動に生かすうえで重要な役割を果たしてきました。昨年はコロナ禍蔓延の事態もあり開催を見送りました。今年も、コロナ禍の状況によって微妙な対応が求められていますが、7月2日行った近畿ブロック会長・事務局長会議で、総選挙後の11月中旬に奈良市で行うことを決定しました。奈良県が担当県として会場等の都合を検討、11月16日(火)～17日(水)に開催することになりました。

編集後記

コロナ禍の対応では無為無策を繰り返し、オリンピックを強行、日々感染者数の急増を招き、遂に東京都と沖縄県では緊急事態宣言を8月末まで延長、併せて首都圏と大阪府でも緊急事態宣言を出さざるを得なくなりました。そして、ついに、感染者が急増している地域では、重症者と重症化リスクの高い人以外は在宅治療とう事実上の“医療崩壊”宣言ともいべき事態をまねきました。国民の命を犠牲にしてまで五輪に突っ走る菅政権に対する国民の批判は7月4日の東京都議選に示されました。

秋には、総選挙が必ず行われます。この総選挙ではすべての小選挙区で野党統一候補を実現し、反国民的な自公政権を終わらせ野党連合政権を実現し、治安維持法犠牲者国家賠償の実現に展望を切り開くため力を尽くしましょう

コロナ禍の困難な中であっても、着実に製作の取り組みを進められてきた映画「わが青春つきるとも 伊藤千代子の生涯」が、いよいよクランクインの運びとなりました。これに呼応して、奈良県でも、映画「製作・上映運動奈良県実行委員会」準備会の結成が呼びかけられました。こころざしを同じくする民主団体・個人が力を合わせ運動を大きく進めましょう。

来年の5月の国会請願めざす署名をはじめ、国賠同盟の諸課題の推進に力を尽くしましょう。あわせて、「旧奈良監獄」を、平和と民主主義のために闘って奈良刑務所に収監された先人の事績も常設的に展示する史料館として活用するために、新たに始められた『旧奈良監獄』を高級ホテルに改造しないでください」と訴えた署名を進めることを呼びかけます。

治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟奈良県本部常任理事会